



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 アイエーグループ 株式会社

コード番号 7509 URL <http://www.ia-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古川 教行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長

(氏名) 岡野 良信

TEL 045-821-7500

四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	8,036	3.1	12	△93.8	95	△64.9	33	△76.1
27年3月期第1四半期	7,793	△2.3	203	△37.6	273	△30.0	140	△49.1

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 42百万円 (△71.4%) 27年3月期第1四半期 148百万円 (△45.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	4.02	—
27年3月期第1四半期	16.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	31,846		13,865		43.5	
27年3月期	31,574		14,010		44.4	

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 13,865百万円 27年3月期 14,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,800	4.4	1,350	39.2	1,600	8.5	1,000	20.9	119.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	10,126,800 株	27年3月期	10,126,800 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	1,852,574 株	27年3月期	1,752,175 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	8,332,576 株	27年3月期1Q	8,655,013 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記.....	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(セグメント情報等).....	8

1.当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得の改善を背景として、緩やかな回復基調で推移しました。その一方、個人消費については、消費税率引き上げの影響が薄らぎ持ち直しは見受けられるものの、その回復は鈍く、依然として厳しい状況が続いております。

そのような中、当社グループにおきましては前年同期と比較して、カー用品事業が増収増益を確保するも、ブライダル事業及び建設不動産事業が減益となるなど、厳しい経営を余儀なくされました。

カー用品事業につきましては、平成26年5月に株式会社オートバックス神奈川の株式取得によりオートバックス3店舗、スーパーオートバックス1店舗を加えた32店舗の営業となりました。利益率の高いピットサービス部門の強化を行うとともに、スケールメリットを生かした販売促進の実施等による販売管理費の節減の結果、増収増益となりました。

ブライダル事業につきましては、平成26年9月及び平成27年3月に開業しました2式場により、7式場による営業となりました。このことにより、施行組数の増加は図られましたが、既存の式場における施行組数及び施行単価が前年同期に比べて減少したこと、並びに前年同期は協力業者よりの販促支援金等が計上されたこともあり、増収減益となりました。

建設不動産事業につきましては、平成27年4月に業容拡大の一環としてコンテナのユニット建築を行う(株)IDMobileを設立しました。しかし、前年同期は大型物件の売却を行ったことから、前年同期と比べて減収減益となりました。

その他の事業につきましては、コメダ珈琲を平成26年9月に2店舗、同年10月に1店舗オープンさせ、3店舗による営業となりましたが、平成26年7月にコンピューターソフト事業の事業譲渡を行ったことから、減収減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,036百万円と前年同期比3.1%の増収となりました。また、営業利益につきましては12百万円(前年同期比93.8%減)、経常利益につきましては95百万円(前年同期比64.9%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は33百万円と前年同期比76.1%の減益となりました。

(2)財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期末における総資産は31,846百万円となり、前連結会計年度末に比べ271百万円の増加となりました。

なお、純資産は13,865百万円となり、前連結会計年度末に比べ144百万円の減少となりました。

自己資本比率は43.5%となり、前会計年度末に比べ0.9ポイント減少いたしました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月8日の発表から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,374,663	1,477,972
売掛金	1,101,617	1,112,315
たな卸資産	5,449,524	5,681,906
繰延税金資産	376,233	376,233
その他	960,408	946,673
貸倒引当金	△12,949	△12,913
流動資産合計	9,249,498	9,582,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,724,043	9,576,995
土地	5,039,798	5,131,239
建設仮勘定	10,800	120,960
リース資産(純額)	330,921	311,375
その他(純額)	647,138	602,116
有形固定資産合計	15,752,702	15,742,686
無形固定資産		
のれん	349,263	327,878
その他	93,467	89,609
無形固定資産合計	442,730	417,487
投資その他の資産		
投資有価証券	198,115	211,173
長期貸付金	25,219	24,623
長期前払費用	508,082	495,249
差入保証金	4,437,653	4,421,244
繰延税金資産	855,887	845,774
その他	128,447	129,499
貸倒引当金	△23,487	△23,111
投資その他の資産合計	6,129,920	6,104,453
固定資産合計	22,325,353	22,264,628
資産合計	31,574,851	31,846,817

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,313,816	1,472,277
短期借入金	3,368,720	4,009,736
未払法人税等	82,775	64,857
未払消費税等	194,690	186,233
未成工事受入金	38,626	35,194
賞与引当金	386,977	611,672
役員賞与引当金	52,000	-
ポイント引当金	201,784	209,114
繰延税金負債	83,614	83,614
その他	2,207,163	1,874,791
流動負債合計	7,930,169	8,547,491
固定負債		
長期借入金	6,602,911	6,375,465
長期預り保証金	1,191,650	1,218,571
退職給付に係る負債	341,901	335,927
役員退職慰労引当金	200,000	212,500
資産除去債務	1,062,490	1,066,294
繰延税金負債	16,500	16,500
その他	218,817	208,341
固定負債合計	9,634,271	9,433,601
負債合計	17,564,441	17,981,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	11,852,922	11,780,933
自己株式	△1,032,989	△1,114,617
株主資本合計	13,958,824	13,805,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,987	62,753
繰延ヘッジ損益	△2,402	△2,235
その他の包括利益累計額合計	51,585	60,517
純資産合計	14,010,410	13,865,724
負債純資産合計	31,574,851	31,846,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	7,793,405	8,036,373
売上原価	4,465,510	4,488,169
売上総利益	3,327,895	3,548,203
販売費及び一般管理費	3,124,086	3,535,587
営業利益	203,808	12,616
営業外収益		
受取利息及び配当金	8,961	8,673
受取手数料	19,413	25,979
受取家賃	23,501	29,125
その他	37,003	43,379
営業外収益合計	88,880	107,158
営業外費用		
支払利息	11,932	13,559
その他	7,631	10,447
営業外費用合計	19,564	24,007
経常利益	273,124	95,767
特別損失		
固定資産除却損	445	-
特別損失合計	445	-
税金等調整前四半期純利益	272,679	95,767
法人税等	132,657	62,293
四半期純利益	140,022	33,474
親会社株主に帰属する四半期純利益	140,022	33,474

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	140,022	33,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,415	8,765
繰延ヘッジ損益	△280	166
その他の包括利益合計	8,135	8,931
四半期包括利益	148,157	42,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,157	42,406

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	カー用品 事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,473,420	2,454,327	743,434	7,671,181	122,224	7,793,405	—	7,793,405
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,343	46	89,942	91,332	377,243	468,575	△ 468,575	—
計	4,474,764	2,454,373	833,376	7,762,513	499,467	8,261,981	△ 468,575	7,793,405
セグメント利益又は損失(△)	△ 128,357	211,647	102,456	185,746	16,413	202,160	1,647	203,808

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンピュータソフト事業、
経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「カー用品事業」セグメントにおいて、株式会社オートバックス神奈川を連結子会社化したことに伴い、当第1四半期連結累計期間において、のれんが425,710千円発生しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	カー用品 事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,846,735	2,686,750	406,733	7,940,219	96,153	8,036,373	—	8,036,373
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,100	—	81,157	82,257	324,933	407,190	△ 407,190	—
計	4,847,835	2,686,750	487,890	8,022,477	421,086	8,443,564	△ 407,190	8,036,373
セグメント利益又は損失(△)	15,317	△ 791	24,839	39,365	△ 29,408	9,957	2,659	12,616

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代
行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。